

本学会誌に投稿される方は下記の投稿規定を熟読のうえ、投稿に必要な諸書類の各必要事項を適切に記入し投稿してください。

岐阜歯科学会編集委員会

岐阜歯科学会雑誌投稿規定

投稿：

- 1) 岐阜歯科学会雑誌は岐阜歯科学会の機関紙であり、歯科医学関連領域の投稿を受け付ける。
- 2) 投稿は他誌に未発表の総説、原著、症例、短報および資料とする。
- 3) 投稿は原則として共著者を含めて本学会会員に限る。

論文の受理：

- 1) 原稿は投稿規定に従い、内容、体裁が整い、直ちに印刷できるものであること。
- 2) 原稿は印刷用としてオリジナル1部、校閲用としてそのコピー2部(ただし、写真は査読に充分たえるものとする)とする。
- 3) 原稿の受付は随時とする。
- 4) 受け付けた原稿は2名の査読を受けた後、編集委員会において掲載の可否が決定される。

著作権：

本誌に掲載される著作物の著作権は、岐阜歯科学会に帰属することを前提とする。共同著者の場合も著者全員の同意があり、また完全な譲渡の自由を有する著作物であること。

論文の掲載：

掲載は原則として完全原稿を受理した順序とする。

原稿：

- 1) 原稿はコンピューターソフト(ワードプロセッサも可)で作成し、使用機種および使用ソフト名を添付した3.5フロッピーディスクを原稿とともに提出すること。
- 2) 和文はひらがな、新かなづかいとし、漢字は原則として常用漢字を用い、A4版24字×25行で横書きしたものとする。英文原稿はダブルスペースでA4版の用紙に印字し、和文英文ともに四方に25mmの余白をもうけること。英文は英語を母国語とする研究者が読んで正確に理解できるものであること。
- 3) 動植物名の学名はイタリックで、和文はカタカナで書く。
- 4) 度量衡の単位はSI系を原則とする。

原稿のスタイル：

- 1) 論文の形式は表題、著者名、所属機関名、住所、次に一段下げて略題(和文の場合は25字、英文の場合は50字以内)、抄録、本文、文献、末尾抄録、図・表・写真およびその説明文の順とする。なお、これらの原稿は一括して左上隅をひもで綴る。
- 2) 抄録は本文が和文の場合は400字以内、英文の場合は250語以内とする。抄録の末尾に5語以内のキーワード(英文の場合はKey words)をつける。
- 3) 原著論文の本文は緒言、実験材料および方法、実験結果、考察、結論、(謝辞)の順に記載する。症例の場合もこれに準ずるが、総説、短報および資料はそれぞれ適した形式を考慮する。
- 4) 文献は引用順にならべ、一連の番号を付け、本文中の当該箇所の右肩に数字で片括弧をつけて示す(例；鈴木ら^{3,4)}、……といわれている⁵⁻⁹⁾)。以下例を示す。

雑誌の場合 著者名：論文表題。雑誌名(登録された略号は用いてよい)、巻：最初～最後頁、発行年。(著者名は全員記入する)

例1) Nixon, G. S. and Smith, H. : Estimation of arsenic in teeth by activation analysis. *J. Dent. Res.*, 39 : 514~516, 1960.

例2) 亀田治男, 千原呉郎, 山本幸子 : 赤外線吸収スペクトルによる胆石の分析とその臨床的応用. 最新医学, 13 : 445~468, 1958.

単行本の場合 著者名(編者)：書名(論題)、第何版、発行社(場所)、第何巻、最初～最後頁、発行年。

例3) Sognaes, R. F. : Chemistry and prevention of dental caries, 2nd ed., C. C. Thomas Pub. (Springfield), 20~30, 1962.

例4) 山村雄一：新医化学，10版，南山堂(東京)，40～45，1971.

例5) 草間敏夫(藤森聞一編)：生理学大系(運動の中樞神経生理学)，第1版，医学書院(東京)，第7卷，481～651，1976.

原著が閲覧できないときの引用は，実際に引用した単行本，文献とともに記載する.

例6) Bachara, B. N. : Some molecular aspects of tissue calcification. *Clinical Orthopedic*, 51 : 199～222, 1967 ; from Lazzary, E. G. : Dental Biochemistry, 1st ed., Lea and Febiger (Philadelphia), 1968.

例7) Tacker, G. C. : Calcification and phosphatase. *J. Pathol.*, 48 : 205～223, 1934 ; from Eckman, P. C. : Histopathological studies on the periodontal structure. *J. Am. Dent. Assoc.*, 44 : 114～134, 1957.

例8) 和田光一：口蓋裂の発生学的研究について. 解剖誌，2 : 16～20，1927；大川武文：口蓋裂の研究. 阪大歯学誌，9 : 10～15，1964より引用.

5) 末尾抄録は本文が和文論文の場合は英文とし，400語以内，英文論文の場合は和文とし800字以内とする。この抄録の前に表題，著者名，所属機関名，住所，キーワード(5語以内)を抄録と同じ言語で付け，全体として2頁をこえない。

6) 図・表・写真にはそれぞれアラビア数字で一連の番号を記す。図・表・写真の最大印刷寸法は左右16.2cm×上下24.8cm(図・表の説明も含む)で，左右1/2サイズは7.7cmである。図・表を台紙に貼り付ける場合，台紙の大きさはA4版とし，図・写真には天地を明記し，拡大・縮小率，著者名およびカラー・モノクロの別を記載すること。図・表・写真の挿入位置を本文の右欄外に朱筆すること。図・表・写真の説明はページを改め，原稿末尾に一覧にして添付すること。和文および英文原稿のどちらにおいても図・表・写真の説明は英文とする。

校正：

校正は再校までとし，校正にあたって文章あるいは内容の訂正や変更を一切行ってはならない。

投稿料および別刷代：

別に定める。

原稿送付および問い合わせ先：

〒501-0296 岐阜県本巣郡穂積町穂積1851

朝日大学歯学部内 岐阜歯科学会雑誌編集委員会

TEL・FAX 058-327-7632

(本規定は第28巻1号より適用する)

| | | | | | | | | |
|-------|-----|----|-----|----------------|---------|------------------|------------------|------------|
| 〔記号表〕 | 重量 | kg | g | mg | μg | ng | pg | |
| | | | | | mol | μmol | nmol | pmol Eq wt |
| | 長さ | m | cm | mm | μm | nm | | |
| | 容積 | l | ml | μl | | | | |
| | 濃度 | M | mM | μM | nM | M% | ppm | ppb |
| | | | | mg% | (mg/dl) | | | |
| | 時間 | h | min | sec | | | | |
| | 温度 | ℃ | | | | | | |
| | 放射能 | Ci | mCi | μCi | cpm | dpm | | |
| | その他 | km | pK | R _f | pH | V _{max} | B _{max} | |